教養教育科目　演習科目

受講料	5,000円

科目名：	キャリアブランディング	科目コード	GA26
		単位	2
科目主査： 宮本 実果	担当講師： 宮本 実果	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

本科目では、キャリア形成の新たな考え方としてキャリアブランディングという概念を学びます。人的資本経営時代の中、一人ひとりが「学び続けることがあたりまえ」という考えを持ち、個人の継続的なイノベーションと戦略的なキャリア形成の実現を目指します。　また、多様な人材に対応するコミュニケーションスキルや健康課題とも向き合い、「組織や社会から求められ続ける人材」となることを期待します。

担当教員の 実務経験等	［担当教員の実務経験］ 産業カウンセラーとして、企業の産業保健や健康経営に伴う社員研修を多数実施。ビジネスパーソンの「キャリアの悩みを解決すること」をテーマに活動している。 ［実務経験に基づく項目］ ビジネスシーンにおける人間関係とコミュニケーションについて、産業保健や健康経営における管理職研修、ビジネスシーンに重要な傾聴技法、個人戦略を考える、個人の問題から読み解く組織の課題解決 等。
履修の前提となる科目	☐ あり　☑ なし　科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	特になし。
テキスト	テキストなし 当日レジュメを配布します。

この科目の 到達目標	①キャリアブランディングの概念を個人ワークやディスカッションを通して理解し、イメージすることができる。 ②環境や自分のワークライフの変化を恐れず、求め続けられる人材になるための課題を明確にすることができる。
成績評価 の 方 法	授業態度や授業への参画度合い、個人課題への取り組み度合い、グループワークの参画度合い、課題などに対する取り組み度合いを評価対象とします。また、最終試験は、授業中に講義した内容のポイントや解説から出題します。客観式問題（30点）記述式問題（70点）、計100点。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	・社外活動や勉強会を通して異業種のビジネスパーソンと積極的にコミュニケーションをとる。 ・本科目で学んだ自己分析や個人戦略を定期的に実施し、自らの対話によるフィードバックの習慣をつけること。
事後学習の 参考文献	『仕事は人間関係が9割』宮本 実果、クロスメディア・パブリッシング（インプレス）、2016年　電子書籍版 『対話型組織開発』その理論的系譜と実践』ジャルヴァース・R・ブッシュ、ロバート・J・マーシャク、英治出版、2018年 『組織の未来はエンゲージメントで決まる』新居 佳英、松林 博文、英治出版、2018年

スクーリング受講時に用意するもの

☑筆記用具　☑受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面　☑学生証